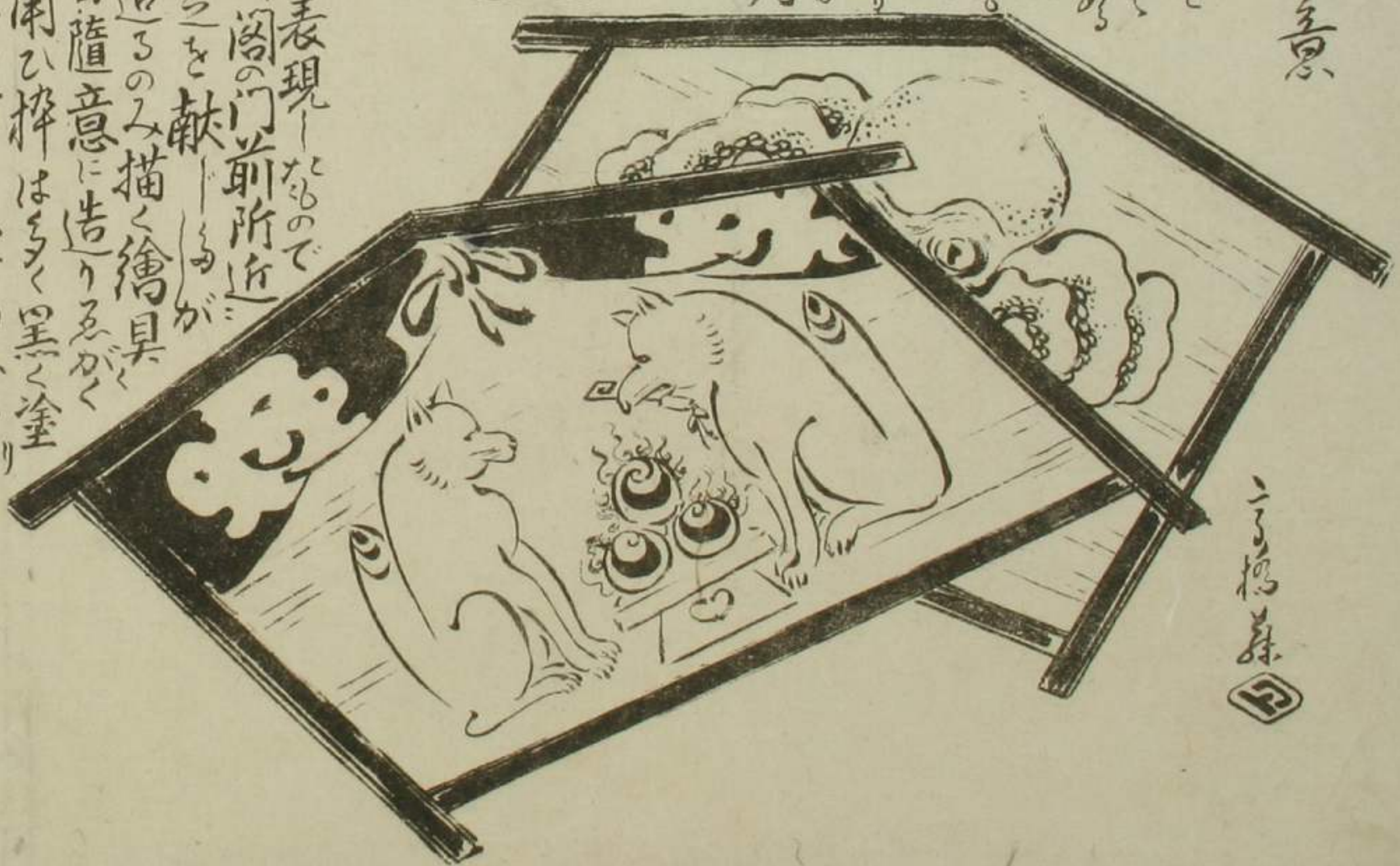


繪馬の傳説及種類いと趣意

元來戰勝祈願の奉賽として神馬と
 献したるものから轉じて本馬を之に更
 奉納したるが簡略な繪馬となつたのであ
 型も所謂繪馬型の外長方形方型工
 などあり桿も種々な變化があるもの
 あり全然桿を附けぬものもある此
 處に描かんと思ふは夫等の一部を
 祈願する事柄をそれらに對想したる或は
 紀念の爲めなど様々な意味から奉納
 するが大体に分けて見ると

- たゞは不期の剣 鬼子母神の柘栲 八幡様の槍
- (持物繪馬) (好物繪馬) (神使繪馬)
- 蛸糸師の蛸 聖天の大根 酒又女の巾着
- (名稱繪馬) (供物繪馬) (断物繪馬)
- 金田とや 古湯を使った
- (目錄繪馬) (銭形繪馬)

等すべて心願祈願望成就なと表現したるもので
 實にも多種多様なものがある各諸の神社佛閣の門前所近
 必ず専門に製作する家があり買求るを献したるものが
 現在一千位と中野に二軒専門に造るのみ描く繪具
 多く泥繪具を用ひ亦は祈願者各自隨意に造り及ぶ
 めのものあり材料は落板經木など用ひ桿は多く黒く塗
 大きさも二尺位から三寸を多し一尺一尺にばるるあり
 繪の關係上乍ら刷の面より此繪馬の描く肉筆により泥繪の
 毛筆であつたり揮毫しなむが趣味が深く存して依て今更の儀
 成可成自分で描くのが本意せずがは多悦の方は會はる代筆
 中上可により何卒會員皆様方趣味家諸氏へは傳達を
 賜りはか入る程願う尚當日は同好の誼を合せは來會を



一日時 昭和七年二月二十三日(午后六時)

一會場 日本橋区若松町

伴勢由俱樂部

電話浪花五九五

一會費 金二円五十銭

是ハ會はる繪馬代筆す

金壹

円 是ハ自分で繪馬おかけの方

一申込 期日二月十五日迄

繪馬形乍ら刷台紙ハ申込次第
 送る申可付は自家の方ハ申込形

當日午前中より壬申年賀繪をかき及繪馬持寄

展覧會

市注意會場道順

電車ハ久松又ハ西園下車
 乗合自動車ハ村松下車
 久松よりハ金座通小見科竹内
 病院の先横テ

東京市日本橋区大傳馬町二ノ二

日ハ二十三

申込所 五位野武取

電話九〇二番